

「繰り返し教え学びなさい」

申命記 6章 4-25 節

2020.11.8

●アウトライン

1. モーセの告別説教

- ・「あなたの神、主を愛しなさい」(5 節)
- ・主イエスが語る最も重要な第一の掟
- ・失敗と反省からの教え

2. 繰り返し教え、学ぶこと

- ・ユダヤ教の伝統「テフィリン」(8 節)、「メズザー、メズーザー」(9 節)
- ・神はどうして「子どもたちに繰り返し教えなさい」と言われるのか。

①子どもたちが救いの神のを知るため。また、神と共に歩む幸いの道を歩むため。

- ・子どもも生まれながらに罪を持つ「罪人」であり、真の神を知らない。
- ・そのため、救いの神がどういう御方であるかを伝える必要がある。

②大人も子どもも繰り返し学び、神様のことを忘れないため。

- ・人間の罪の性質の一つ、神を忘れること。
- ・繰り返し教えるとは、自分が繰り返し学ぶということ。

●礼拝指針の言葉

第十四条 2 項 (礼拝出席)

「牧師と小会は、公的礼拝に、子どもたちも家族と共に出席するように勧め、子どもも礼拝できるプログラムを検討する。終生、キリストの臨在を喜びとして、礼拝に出席するように教育する。」

●聖書箇所

【マルコによる福音書 10 章 13-16 節 新約聖書 81 ページ】

「イエスに触れていただくために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。しかし、イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。『子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきり言っておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。』そして、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。」

【詩編 51 編 7 節 旧約聖書 885 ページ】

「わたしは咎のうちに産み落とされ／母がわたしを身ごもったときも／わたしは罪のうちにあったのです。」